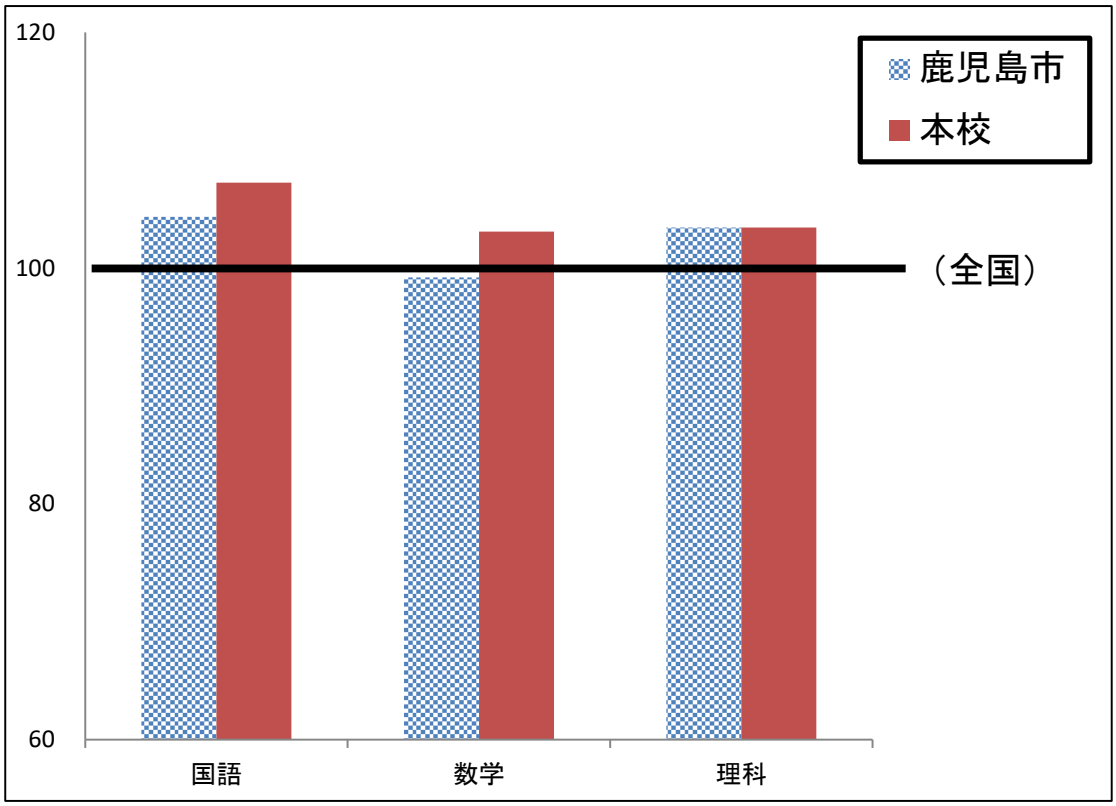
別紙（提出用）

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

長田中学校

1　自校・市・全国の平均正答率の比較

〈　全国平均正答率を100とする棒グラフ　〉



2　自校の課題に対する改善策

〈国語〉

どの指導事項においても全国及び県の正答率を上回るものの，自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くこと，行書の特徴を理解することの正答率が低くなっています。情報を整理させながら自分の考えを論理的に形成させたり，書写の知識及び技能が定着したりする指導の工夫に取り組んでまいります。

〈数学〉

事象を数学的に考察する場面において，統合的・発展的に考え，事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題が残りました。事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明する授業において，問題の条件を変えるなどして，統合的・発展的に考察する指導の工夫に取り組んでまいります。

〈理科〉

身近な生活の中での現象を科学的に考えたり，モデル化して説明したりすることに課題が残りました。理科の学習に関係の深い事柄を授業に取り入れて授業を展開したり，学習したことを身近な
生活の場面に関連付けて考えたり，個の考えをグループで検討して改善したりするなどの指導の工夫に取り組んでまいります。

〈全体的に〉

生徒質問紙の結果より，本校の生徒は学校に通うことが楽しく，授業で自分と違う意見を聞き考えることや，友達と協力して物事を進めることが好きな生徒が多いようです。放課後の学習時間は長めですが，自分で計画を立てて家庭学習を進めることに課題が見られました。学校では，主体的・対話的で深い学びの授業の展開に力を入れ，生活の記録を活用して学習計画を立てながら日々の学習に取り組んでまいります。